

平成29年度技術検定の合格基準について

(1)建設機械施工

級及び学科試験、実地試験の別に応じて、次の基準以上の者を合格とするが、試験の実施状況等を踏まえ、変更する可能性がある。

- 学科試験 得点が60%以上
- 実地試験(1級 組合せ施工法) 得点が60%以上
- 実地試験(1級 操作施工法・科目ごと) 各科目の得点が60%以上
- 実地試験(2級 操作施工法・第1種～第6種までの種別ごと) 得点が70%以上

(2)土木施工管理、建築施工管理、電気工事施工管理、管工事施工管理、造園施工管理

学科試験及び実地試験の別に応じて、次の基準以上の者を合格とするが、試験の実施状況等を踏まえ、変更する可能性がある。

- 学科試験 得点が60%以上
- 実地試験 得点が60%以上

技術検定試験の個人の成績の通知について

平成 26 年度から技術検定試験の不合格者に対して不合格通知書にて成績を通知いたします。成績の通知は、以下のとおり行います。なお、通知する成績については、全体の結果のみとし、設問毎の得点等については通知いたしません。

[土木施工管理、建築施工管理、電気工事施工管理、管工事施工管理、造園施工管理]

・学科試験（1 級、2 級とも） ○○問 正解

・実地試験

【評定】

A：合格（合格基準以上）

B：得点が 40%以上合格基準未満

C：得点が 40%未満

[建設機械施工]

・学科試験（1 級）

【評定】

A：合格（合格基準以上）

B：得点が 40%以上合格基準未満

C：得点が 40%未満

（2 級）

○○問 正解

・実地試験

【評定】

A：合格（合格基準以上）

B：得点が 40%以上合格基準未満

C：得点が 40%未満

※通知した成績に係る問い合わせにはお答えできません。

※合格者については成績の通知は行いません。また問い合わせにもお答えできません。

※2 級技術検定は、学科試験及び実地試験を同日に実施のため、学科試験の不合格者については、実地試験の採点は行われません。